



甦ったショパンの響き～1830年プレイエル・ピアノと弦楽

昨年11月20日(金)午後7時からアクトシティ浜松中ホールにおいて、「プレイエル・ピアノと弦楽による19世紀の響き～ショパン、ピアノ協奏曲第1番室内楽版」と題したコンサートを開きました。8日から23日まで行われた第7回浜松国際ピアノコンクールを記念し、楽器博物館第94回レクチャーコンサートとして開催されたものです。使用したピアノは楽器博物館が所蔵する名器1830年製プレイエル社のピアノ。パリのプレイエル社のホールでデビューしたショパンは、生涯プレイエルのピアノを愛奏します。ショパンの作品はプレイエルのピアノでこそ生まれたと言えるでしょう。演奏はピアノに小倉貴久子、ヴァイオリン桐山建志、藤村政芳、ヴィオラ長岡聡季、チェロ花崎薫、コントラバス小室昌広の6人、プログラムはオールショパンで、ノクターン変ホ長調作品9-2、ピアノ三重奏曲ト短調作品8、そしてピアノ協奏曲第1番ホ短調作品11室内楽版。このピアノと編成、プログラムによる演奏会は2006年に静岡文化芸術大学と楽器博物館、それに第一生命ホールとの共同企画により、浜松と東京で開かれました。NHKのBSクラシック倶楽部でも放映されるなど高評を得て再演が望まれていたものですが、今回ピアノコンクールの本選前日に浜松ならではの企画として実現したものです。

6時からのプレトークでは、静岡文化芸術大学准教授の小岩信治氏より、19世紀ヨーロッパにおけるピアノ協奏曲の演奏の形態や普及の方法について「フルオーケストラでの演奏よりも室内楽での演奏が数多く行われ、それによって作品が楽しまれ広く知られるようになって

いった」とのお話がありました。最初の演奏はピアノソロでノクターン。ノクターンの中でも最も有名な作品で、現代のピアノでは味わえない繊細な音が響き渡りました。演奏後には客席からため息が聞こえました。続いてヴァイオリンとチェロが加わった三重奏ではピアノの音量が弦を圧倒することなく、心地よく溶け合います。最後の協奏曲では各パートがオーケストラの楽器を担当しながら、緻密な織物を織るかのごとく音楽を奏でていきます。ここでもピアノは弦楽器を邪魔することなく、極上の音のブレンドが生まれます。特に第2楽章のロマンスの美しさは筆舌に尽くしがたいものでした。

当初、中ホールでは19世紀のピアノには大きすぎて響きが貧弱になるのではないかと心配されたのですが、結果は全く逆で、楽器とホールとの相性がとても良く、2006年の演奏会以上にすばらしい響きが生まれました。詰めかけた600人弱の聴衆からは熱い拍手が送られました。アンコールには小倉さんの編曲によるピアノと弦楽での「別れの曲」が披露され、再び惜しめない拍手が送られました。なおこのコンサートのうちノクターンと協奏曲、それに小倉さんと館長との対談を収めたDVDが3月に発売される予定です。

レクチャーコンサート「プレイエル・ピアノと弦楽による19世紀の響き～ショパン、ピアノ協奏曲第1番室内楽版」

日時：平成21年11月20日(金)19:00～21:00 プレトーク18:00

会場：アクトシティ中ホール

出演：小倉貴久子(フォルテピアノ) 桐山建志(ヴァイオリン) 藤村政芳(ヴァイオリン) 長岡聡季(ヴィオラ) 花崎薫(チェロ) 小室昌広(コントラバス) 小岩信治(プレトーク) 入場者：553名

多彩なテーマで行った企画展。好評のうちに閉幕



「秘曲」仙波存乃恵



「バイオリン・デュオ」ハラダチエ



「Garden Party」上砂理佳

企画展「絵画の中の楽器たち」

本年度は、例年に増して数多くの企画展・テーマ展を開催しました。8月1日から継続開催していた企画展「絵画の中の楽器たち」では、楽器が描かれた絵画をテーマにして 仙波存乃恵さん、ハラダチエさん、上砂理佳さんの作品計43点を紹介しました。

実物でも写真でもない絵画からは、楽器を演奏する人々の息づかいや気持ちが伝わってきます。絵画を中心とした企画展は初めての試みでしたが、会期中数多くのお客さんがご覧になり、さまざまな地域やジャンルで活躍する楽器と人々が生き生きと描かれた作品に感動されていました。なお、ハラダチエさんの作品のうち「ヴァイオリン・デュオ」「ハーモニー」をプリントしたクリアファイルを当館ショップにて販売しています。来館の際には、ぜひご覧ください。

企画展「絵画の中の楽器たち」開催に合わせて、上半期に開催した連続講座「ヨーロッパ民族音楽紀行」の講師で明治大学名誉教授の江波戸昭さんが世界各地で収集した、楽器が描かれた切手コレクション展も開催しました。今回は、数多くのコレクションのなかから連続講座にあわせてヨーロッパ地域の切手を紹介しました。ヨーロッパの楽器というと私たちはオーケストラなどに登場するクラシック音楽の楽器を思い起こしますが、それ以外にもヨーロッパ各地には数多くの民俗楽器があります。それぞれの国で発行された切手には、その地域が自慢とする民俗楽器が生き生きと描かれていました。



企画展「絵画の中の楽器たち」

会期：8月1日(土)～11月29日(日)

協力：仙波存乃恵 ハラダチエ 上砂理佳、
江波戸昭

展示数：43点 入館者：39,524人



第7回浜松国際ピアノコンクール開催記念

企画展「ピアノヒストリー」

秋季は浜松市において国際・全国規模の文化イベントが開催されました。当館では、関連事業として2つの企画展を開催しました。

企画展「ピアノヒストリー」は、「第7回浜松国際ピアノコンクール」（浜松市主催）の開催を記念して行ないました。浜松国際ピアノコンクールは3年ごとに開催され、当館では毎回ピアノ関連の企画展を行っています。ピアノは、現在最も知られている楽器のひとつですが、歴史や構造などについて実はあまり知られていないのが現状です。そのため、この企画展では、「ピアノをより深く知ろう」



という趣旨でピアノの歴史を紹介しました。ピアノが生まれたのは1700年頃のイタリア。誕生から現代まで、数多くの人々による知恵や工夫、また社会状況などによってピアノの構造は変化してきました。今回の展示は、そのような



ピアノの構造の変遷に注目しました。ピアノコンクールと一緒にご覧になられた方も多く「普段、何気なく演奏していますが、奥深いですね」との感想をいただく展示となりました。

企画展「ピアノヒストリー」

会期：10月29日(木)～1月11日(月)入館者：15,396人

第24回国民文化祭・静岡2009開催記念

企画展「素晴らしき哉、ハーモニカ！」



企画展「素晴らしき哉、ハーモニカ！」は、「第24回国民文化祭・静岡2009」の開催を記念して行いました。国民文化祭は、国民の文化の祭典として昭和52年から全国の都道府県を順に会場として行われています。開催期間中は、静岡県の各地でさまざまな大会が開催されましたが、浜松市は音楽関係の会場となり、ハーモニカ、大正琴、吹奏楽、アマチュアオーケストラなど多くの大会が行われました。当館では、ハーモニカと大正琴の展示を行いました。

ひとくちにハーモニカといっても、唱歌、演歌、歌謡曲、フォーク、ブルース、カントリー、ロック、ジャズなど、さまざまなジャンルで演奏されます。ほかの楽器と比べると、安価で持ち運びが便利なおうえ、奥深い性能を持っていることから、現在も多くの愛好者によって奏でられています。

今回は、ハーモニカが日本に伝わり、国産化され、

大衆に広まった昭和初期を中心とした歴史を紹介しました。昭和初期に日本で作られたハーモニカや、ハーモニカ・アンサンブル、川口章吾・宮田東峰・佐藤秀郎など往年の名手たちの資料などの前では、昔を懐かしむ方も数多くいらっしゃいました。また、戦後の国鉄浜松駅の風物詩ともなった、ホームで駅弁ならぬ駅ハーモニカとしてミニハーモニカを販売していた「ハーモニカ娘」の紹介では、「生産地としても有名な浜松ならではですね」との感想をいただきました。

企画展「素晴らしき哉、ハーモニカ！」

会期：10月29日(木)～1月11日(月)

協力：岩崎みち子、鈴木楽器製作所、五味信吾、竹内明彦、日本大正村、古川龍雄、山崎津義、ヤマハ株式会社
(五十音順 敬称略) 入館者：15,396人

ミニテーマ展「大正琴ロマン」

当館では一昨年に大正琴の企画展を開催しましたが、大正琴の大会が国民文化祭の事業として浜松市で開催されたので、今回新たにミニテーマ展として開催しました。

大正元年に名古屋市大須で森田吾郎によって発明された大正琴は、戦前戦後のブームを経て現在も数多くの愛好者によって演奏されています。本展示では、大正期に作られた最初期の大正琴から現代までの特徴的な大正琴の展示と、誕生から現代に至るまでの歴史解説を行いました。期間中は全国各地から愛好者の方が

お見えになり、誰もが楽しめる楽器を目指して考案された大正琴の誕生ストーリーに想いを寄せておられました。また、「大正琴が、インドや中国などの国外でその国の楽器として取り込まれた」との解説に驚かされている方もいらっしゃいました。



ミニテーマ展示「大正琴ロマン」

会期：10月15日(木)～1月11日(月)

協力：金子敦子、船橋楽器資料館 (五十音順 敬称略)
入館者：19,591人

好評発売中 当館所蔵楽器による CD・DVDシリーズ

No.3 「チェンバロ」

「ぶらあぼ」推薦



演奏：中野振一郎
収録曲：「調子のよい鍛冶屋」（ハンデル）、
「神秘的パルケード」（クーブラン）、「葦」（クー
ブラン）、「三美神」（デュフリ）他
使用楽器：チェンバロ（ブランシェ2世・1765
パリ）、（マルキオーニ・1646・フィレンツェ）、
（カークマン・1750・ロンドン）、ヴァージナル（ロッ
シ・1597・ミラノ）、スピネット（ギーン・18
世紀初期ロンドン）他

No.4 「フォルテピアノ」

「ぶらあぼ」推薦



演奏：小倉貴久子
収録曲：「ノクターン」作品9-2（ショパン）、
「エリーゼのために」（ベートヴェン）、「即
興曲」作品90-4（シューベルト）他
使用楽器：フォルテピアノ（ワルター・1810・
ウィーン）、（ブロードウッド・1802頃・ロンドン）、
（フリッツ・ウィーン・1808）、（シュトライヒャー・
1815頃・ウィーン）、（プレイエル・1830・パリ）、
（グラーフ・1820・ウィーン）

No.5 「クリストフオリ・ピアノ」

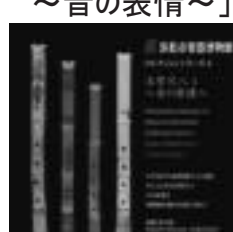
「ぶらあぼ」推薦



演奏：小倉貴久子
収録曲：「チェンバロ・ディ・ピアノ・エ・フォル
テ すなわち、いわゆる小さなハンマー付き
チェンバロのためのソナタ集 作品1より 第8番」
（ジュステイーニ）、「調子の良い鍛冶屋」（ハ
ンデル）他
使用楽器：復元クリストフオリ・ピアノ
（1720モデル・1995復元）

No.6 「古管尺八1 ～音の表情～」

「邦楽ジャーナル」推薦



演奏：志村哲
収録曲：明暗対山流 鹿遠音（みょうあんだ
いざんりゅう しかのとおね）、蓮芳軒喜善軒
秘曲 鶴之巢籠（えんぼうけんきぜんけん
ひきよく つるのすごもり）他
使用楽器：古管尺八（銘「露堂々」・3代目
俣野真龍 1886～1936作）、（銘「還生」・
初代俣野真龍 1791～1861作）他

No.7 「舞踏への勧誘 ～ウィーンの音・ワルター・ピアノ～」



演奏：小倉貴久子
収録曲：「舞踏への勧誘」（ウエーバー）、
「2つのスケルツォ」（シューベルト）、「ソナタ」
変ホ長調 作品81a（ベートーヴェン）、「即
興曲」イ長調 作品7-4（ヴォジーシェク）、
「ハンガリー風ロンド」（フンメル）他
使用楽器：フォルテピアノ（ワルター・1810・
ウィーン）

No.8 「百合の花ひらく ～フランスの美・ブランシェ・チェンバロ～ フランソワ・クーブラン クラヴサン曲集（2枚組）



演奏：中野振一郎
収録曲：「目覚まし時計」、「神秘的パルケ
ード」、「羽虫」、「百合の花ひらく」、「葦」、
「恋のうぐいす」、「威厳」別名「フォルクレ」、
「うなぎ」、「おびえる紅ひわ」他
（全曲・クーブラン）
使用楽器：チェンバロ（ブランシェ2世・1765・
パリ）

No.9 「ショパン ピアノ協奏曲第1番 室内楽版 プレイエル・ピアノによる」



演奏：小倉貴久子（ピアノ）、桐山建志（ヴァイ
オリン）、白井圭（ヴァイオリン）、長岡聡季（ヴィ
オラ）、花崎薫（チェロ）、小室昌広（コントラバス）
収録曲：「ピアノ協奏曲第1番 ホ短調
ドイツ初版（1833）に基づく弦楽五重奏
伴奏付き」、「ピアノ三重奏曲」ト短調
作品8 他（全曲・ショパン）
使用楽器：フォルテピアノ（プレイエル・パリ・
1830）

No.10 「ノクターン ～ショパンの愛したプレイエル・ピアノ～」



演奏：小倉貴久子
収録曲：「ワルツ」作品64-1「仔犬」（ショ
パン）、「幻想即興曲」作品66（ショパン）、
「ノクターン」イ長調（フィールド）、「ノクター
ン」作品27-2（ショパン）、「練習曲」作
品25-1「エオリアン・ハーブ」（ショパン）、
「別れの曲」（ショパン）他
使用楽器：フォルテピアノ（プレイエル・1830・
パリ）

No.11 「19世紀の トランペット」

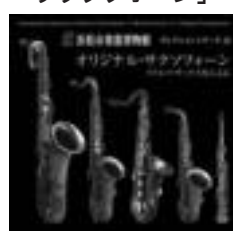
「パイパーズ」、
「バンドジャーナル」推薦



演奏：神代修、小倉貴久子（ピアノ）
収録曲：「トランペット教本より1番」（ドーヴェ
ルネ）、「グリーンスリーブス」（イングランド民
謡）、「ヴェニスへの謝肉祭」（アーバン）他
使用楽器：ナチュラル・トランペット（製作者不
明・1738・シレジア）、長管トランペット（グ
ラスリッツ・1890・オーストリア）、ボケット・
コルネット（ディステイン・1868・ロンドン）、キー
ビュール（ライト・1850頃・ボストン）他

No.12 「オリジナル・ サクソフォーン」

「パイパーズ」、
「バンドジャーナル」推薦



演奏：井上麻子、篠原康浩、中谷龍也、
飯守伸二、中野聡子
収録曲：「夢のあとで」（フォーレ）、「古城～
展覧会の絵より」（ムソルグスキー）、「四
重奏曲第1番」（サンジュレー）他
使用楽器：サクソフォーン（ソプラノ・1860）、
（アルト・1859）、（テナー・1859）、（バリ
トン・1860）、（メロディン C・1855頃）
（全楽器 サックス・パリ）

No.13 「三美神～ 18 世紀ヴェルサイユ・クラヴサン音楽の美の世界～」



演奏：中野振一郎
収録曲：「アルマンド」(デュフリ)、「優しい訴え」(ラモー)、「鳥たちのさえずり」(ラモー)、「シルヴァ」(フォルクレ)、「スキタイ人の行進」(ロワイエ)、「クーラント」(クーラン)、「三美神」(デュフリ)、「のみ」(ボワモルティエ)、「マルゼルブ」(バルバトル)他
使用楽器：チェンバロ(ブランシェ 2 世・1765・パリ)

No.14 「ベートーヴェン ピアノ協奏曲第 4 番 室内楽稿 ワルター・ピアノによる」

「朝日新聞」
「毎日新聞」推薦



演奏：小倉貴久子(フォルテピアノ)、桐山建志(ヴァイオリン)、高木聡(ヴァイオリン)、藤村政芳(ヴァイオリン)、長岡聡季(ヴァイオリン)、花崎薫(チェロ)
収録曲：「交響曲第 2 番」作品 36 ピアノ三重奏版、「ピアノ協奏曲第 4 番」作品 58 原典資料に基づく室内楽稿(キューテン編)(全曲・ベートーヴェン)
使用楽器：フォルテピアノ(ワルター・1810・ウイーン)

No.15 「月光／春」 「朝日新聞」「毎日新聞」「音楽現代」
～ワルター・ピアノと弦によるベートーヴェンの輝き～」

推薦



演奏：小倉貴久子(フォルテピアノ)、桐山建志(ヴァイオリン)、花崎薫(チェロ)
収録曲：モーツァルトの「魔笛」より「恋人か女房か」によるピアノとチェロのための 12 の変奏曲 作品 66、「ピアノ・ソナタ」作品 13「悲愴」、「ピアノ・ソナタ」作品 27-2「月光」、「ヴァイオリン・ソナタ」作品 24「春」
使用楽器：フォルテピアノ(ワルター・1810・ウイーン)

No.16 「シューマン夫妻の室内楽」 「朝日新聞」推薦
～伝グラーフ・ピアノによる～



演奏：小倉貴久子(フォルテピアノ)、桐山建志(ヴァイオリン)、藤村政芳(ヴァイオリン)、長岡聡季(ヴァイオリン)、花崎薫(チェロ)、笠原勝二(コントラバス)
収録曲：「ピアノ協奏曲」作品 7 ドイツ初版(1837)に基づく弦楽五重奏伴奏付き(クララ・ヴィーク)、「ピアノ五重奏曲」作品 44(ロベルト・シューマン)他
使用楽器：フォルテピアノ(伝グラーフ・1820・ウイーン)

No.17 「フリードリヒ大王の宮廷音楽」 「朝日新聞」「パイパーズ」
～2つの“クヴァンツ・フルート”による「バンドジャーナル」
バロック・フルートの魅力～」

推薦



演奏：有田正広、木下恵子、有田千代子(チェンバロ)
収録曲：「フルート・ソナタ」(C.Ph.E. バッハ)、「フルート・ソナタ」(フリードリヒ大王)、「フルート・ソナタ」(クヴァンツ)、「2本のフルートのための二重奏」(W.F. バッハ)他
使用楽器：2キー・フルート(フライヤー1 世・1763 以降・ベルリン)、チェンバロ(ブランシェ 2 世・1765・パリ)他

No.18 「ナチュラルホルン」 「バンドジャーナル」「朝日新聞」「パイパーズ」
～自然倍音の旋律美と素朴な力強さ～」

推薦



演奏：塚田 聡(ナチュラルホルン)、小倉貴久子(フォルテピアノ)
収録曲：「ホルン・ソナタ」作品 17(ベートーヴェン)、「ホルン・ソナタ」作品 34(リース)、「ホルン協奏曲 第 3 番」K.447(モーツァルト)狩猟ホルンによる信号(伝承曲)他
使用楽器：ナチュラルホルン(クルトワ・1841 以前・パリ)、「デューボワ・1837・リヨン)、「狩猟ホルン(アラリ・1875・パリ)他

No.19 「愛の挨拶～美しきヴァイオリンの世界～」



演奏：松田淳一(ヴァイオリン) 松田淳子(ピアノ)
収録曲：愛の挨拶(エルガー)、タイスの瞑想曲(マスネ)、月の光(ドビュッシー)、ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ(ドヴォルザーク)、ジュ・トゥ・ヴー(サティ)他
使用楽器：ヴァイオリン(シャノー・1820 頃・パリ)、「ハウエル・1836・イングランド)、「ストロー・ヴァイオリン(20 世紀前半)、「クイントン(ジュネ・1767・パリ)、「ステッキ・ヴァイオリン(製作者不明・19 世紀後半・ドイツ)他

No.20 「麗しきメンデルスゾーン」 「レコード芸術」特選
～歌の翼に～



演奏：小倉貴久子(フォルテピアノ)、桐山建志(ヴァイオリン)、花崎薫(チェロ)、畑儀文(テノール)他
収録曲：「 rond・カプリッチオーソ」作品 14、「春の歌」作品 62-6、「歌の翼に」作品 34-2、「ピアノ三重奏曲 第 1 番」作品 49 他(全曲・メンデルスゾーン)
使用楽器：フォルテピアノ(伝グラーフ・1820・ウイーン)

No.21 「夢～トロイメライ」 「レコード芸術」特選
～伝グラーフ・ピアノによる」



演奏：小倉貴久子(フォルテピアノ)、畑儀文(テノール)
収録曲：「子供の情景」(シューマン)、「野ばら」(シューベルト)、「無言歌集」(メンデルスゾーン)、「謝肉祭」(シューマン)「セレナード」(シューベルト)他
使用楽器：フォルテピアノ(伝グラーフ・1820・ウイーン)

DVD 世界の楽器コレクション(コンサートライブ)



No.1 ブランシェのチェンバロ

「18 世紀ヴェルサイユ・クラヴサン音楽の美の世界」

演奏：中野振一郎
収録曲：「百合の花ひらく」(クーラン)、「優しい訴え」(ラモー)、「スキタイ人の行進」(ロワイエ)、「ジュビター」(フォルクレ)、「三美神」(デュフリ)「ヴィクトワール」(デュフリ)
使用楽器：チェンバロ(ブランシェ 2 世・1765・パリ)



No.2 プレイエルのピアノ
「室内楽で聴くショパンが愛した音の世界」

演奏：小倉貴久子(ピアノ)、桐山建志(ヴァイオリン)、藤村政芳(ヴァイオリン)、長岡聡季(ヴァイオリン)、花崎薫(チェロ)、小室昌広(コントラバス)
収録曲：「ノクターン」作品 9-2、「ピアノ協奏曲 第 1 番」作品 11 ドイツ初版(1833)に基づく「室内楽版」(全曲・ショパン)
使用楽器：フォルテピアノ(プレイエル・1830・パリ)

楽器博物館ショップ・ヤマハミュージック東海浜松店
価格 各 ¥2,200(税込み)

他 CD ショップ、アマゾン.jp で購入される場合は価格が異なります。

- 購入に関するお問合わせ先
ミュージアムショップ「アンダンテ」 TEL 053-451-0300
- 内容に関するお問合わせ先
浜松市楽器博物館 TEL 053-451-1128

楽器博物館
ショップ価格 ¥1,500

内容・購入に関するお問合わせ先
デジタルセンセーション TEL.050-6860-5522

世界の楽器・音楽・文化を聴く～レクチャーコンサート～

「世界遺産 琴の世界～日本と中国の文人音楽～」



日本を代表する中国古典音楽研究家、琴演奏家坂田進一さんをお迎えて、琴の演奏、文人との関わりについてレクチャーを行いました。

今回取り上げる楽器の名前は「琴」という漢字ですが「きん」と読みます。普段私たちが「お琴（おコト）」と呼んでいる「箏（そう）」とは別の楽器です。琴と箏との一番大きな違いは、箏には琴柱（ことじ）があるのに対し、琴には琴柱がないことです。琴は左手で弦を押さえて音の高さを変えながら7本の弦をはじきます。中国の思想家、孔子も嗜み精神修養のために演奏された琴。世界無形文化遺産となった琴の音楽を通して、中国の悠久の歴史を感じることができました。

日時：10月9日（金）18:45～20:45

会場：アクトシティ音楽工房ホール

出演：坂田進一 入場者：83人

「樺太アイヌの五弦琴～魂のトンコリ～」



トンコリは北海道の北にある樺太島（サハリン）のアイヌ民族に伝わる伝統楽器です。残念ながら樺太アイヌの当時の伝承者は一人も残っておらず、当時の人から直接教えを受けた富田友子さんと、その教えを受けた木原仁美さんが、受け継がれた伝統の技を披露しました。富田友子さんは、昭和34年に北海道札幌に移り住んだのを機にトンコリの研究を始め、そこで樺太アイヌのトンコリの名手、西平ウメ氏や木村チカマ氏と親交を結び、トンコリやアイヌ文化について学んだのだそうです。

あまり音量の大きな楽器ではありませんが、歌とよく合う素朴で心地よい響きのトンコリ。樺太アイヌの魂に触れた、意義深い演奏会となりました。

日時：10月25日（日）14:00～16:00

会場：アクトシティ音楽工房ホール

出演：富田友子、木原仁美 入場者：72人

「バリトン～ハイドンが愛した幻の弦楽器～」



バリトンをこよなく愛したニコラウス・エステルハージ侯の宮廷楽長として仕えたハイドンは、彼のために150以上のバリトン曲を作曲しています。しかし、奏法が難しいことから、今では幻の楽器となっており世界でも50人程しか演奏者がいないとのこと。バリトンとは、17～18世紀に南ドイツ・オーストリアで、王侯貴族の間で愛好された弦楽器。表に張ってある7本のガット弦（羊の腸を乾燥させ擦ったもの）を弓で擦って演奏し、その弦と胴の間には数多くの金属製の共鳴弦が張ってあります。この共鳴弦を左手の親指ではじくという奏法も使われます。

演奏は、ウィーンを拠点に活動をしているエステルハージ・アンサンブル。独特の響きを持つバリトンの響きに陶醉したコンサートでした。

日時：11月16日（月）18:45～20:45

会場：楽器博物館展示室

出演：エステルハージ・アンサンブル
入場者：103人

「フォルテピアノで聴く魅惑のハイドン〜ウィーンからロンドンへ」



ハイドンの没後 200 年を記念して、彼が作曲したピアノ・ソナタを通しハイドンの人物像に迫りました。ハイドンのピアノ・ソナタというと、ピアノを習っていた人なら一曲は演奏したことがあるかもしれませんが。今回は、作曲年代順に 3 曲聴き、「当時どんな鍵盤楽器に影響を受けてこれらの曲が作られたのか」という謎に迫りました。彼が音楽の道に入った頃、鍵盤楽器の主流はチェンバロでした。その後普及したピアノは、異なるアクション構造のウィーン式とイギリス式が少し後に登場します。このような時代であったからこそ、その時に会った楽器にふさわしい曲を作りました。館蔵の当時の楽器による演奏により、現代のピアノとは一味ちがう響きの 3 曲のソナタを聴き比べることができました。

日時：12月13日(日)14:00～16:00
 会場：アクトシティ音楽工房ホール
 出演：本多まき、藤江効子(お話)
 入場者：89人

夕食前の優雅なひととき～イヴニングサロン～



「今宵はシューベルト」

閉館後の展示室で夕食までのひとときを小さなコンサートで楽しむイヴニングサロン。

第3回は「今宵はシューベルト」と題して、シューベルトの作品をアムステルダム在住のピアニスト七條恵子さんの演奏でお楽しみいただきました。使用した楽器は、シューベルト(1797～1828)が生きていた当時、ウィーンで大変人気の高かったピアノ製作者シュトライヒャーが製作したフォルテピアノ(当館蔵・1815年頃製)。現代のピアノと比べて鍵盤がとても軽く優しく語りかけるような音色のフォルテピアノ。そのあたたかい響きにつつまれたひとときとなりました。

第4回は「チェンバロの夕べ」。2009年度古楽コンクール<山梨>にて最高位を受賞した會田賢寿さんによるチェンバロの演奏をお楽しみいただきました。使用したチェンバロは20年ほど前に日本で製作されたもので、和風の装飾が施され音色だけでなく見た目にも美しい楽器です。「組曲の軌跡」と題されたプログラムでは、バロック時代を代表する作曲家クーラン、フローベルガー、J.S. バッハの組曲を聴き比べることができました。これらの楽曲は、現在はピアノで演奏される機会が多いのですが、作曲者が意図したチェンバロの響きを堪能することができました。



「チェンバロの夕べ」

第3回「今宵はシューベルト」 日時：10月24日(土)18:30～19:30
 会場：楽器博物館展示室 出演：七條恵子 入場者：75人
 第4回「チェンバロの夕べ」 日時：12月19日(土)18:30～20:30
 会場：楽器博物館展示室 出演：會田賢寿 入場者：76人

楽器や音楽の謎をわかりやすく紹介～講座「楽器の中の聖と俗」～

この講座では、世界各地の音楽調査を行っている大阪音楽大学名誉教授の西岡信雄氏が撮影した映像を見ながら、毎回テーマを設定して楽器や音楽の謎にさまざまな視点でせまりました。

第45回は「諸鈍(しょどん)シバヤ」をテーマに行いました。諸鈍シバヤは、奄美大島の南にある加計呂麻(かけるま)島の諸鈍に伝承される仮面舞踏劇です。大和、琉球、朝鮮半島、中国の文化が取り入れられたこの芝居は男性のみで演じられます。一時中断した時期があったものの約800年続く伝統芸能で、1976年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

第46回は、佐渡の南部、羽茂(はもち)地区に500年を超えて伝わる秘芸「つぶろさし」、エイズ除けの祭りとして世界に知られる「かなまら祭り」。それぞれ、子孫繁栄、安産、縁結びを祈願する日本の性器崇拜のお祭りを取り上げました。



第45回「諸鈍シバヤ」 日時：10月17日(土)14:00～15:30 参加者：15人 会場：アクトシティ研修交流センター
 第46回「つぶろさし/かなまら祭り」 日時：12月5日(土)14:00～15:30 参加者：21人 講師：西岡信雄

世界の楽器演奏体験ワークショップ～親指ピアノ～



ワークショップでは、年に数回、専門家の指導で世界の様々な楽器を演奏体験します。演奏技術の向上だけでなく、文化的背景のお話を聞くこともできるので好評です。

「親指ピアノ」はアフリカで生まれた楽器で、親指でキー（細い鉄片）をはじいて演奏します。アフリカの人たちは、身近な材料で手作りし、自分の楽しみとして演奏します。そんな素朴で親しみやすい楽器で、アフリカの特徴的なリズム「ポリリズム」を体験しました。



ワークショップ「親指ピアノ」
日時：11月28日(土) 13:00～16:00
会場：アクトシティ研修交流センター
講師：サカキマンゴー 参加者 20人

◆これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日1時間毎
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- レクチャーコンサート
「長唄三味線～粋を極めた江戸の音～」
2/6(土) 14:00 音楽工房ホール
出演：伝の会(杵屋邦寿、松永鉄九郎)
「モンゴルの風にのせて」
3/21(日) 18:30 展示室 出演：モンゴル民族アン
サンブル「モンゴル・アヤルグー」
- 世界の楽器体験ワークショップ・講座
「馬頭琴とモンゴルの暮らし」
3/7(日) Aコース 10:00 Bコース 13:00
Cコース 15:00
アクトシティ浜松研修交流センター
講師：馬頭琴レクチャーグループ・サランモル

◆博物館日誌

- 10/4(日) ミュージアムサロン「変わりだねヴァイオリン」
11:00、13:15 楽器博物館展示室
出演：松田淳一、松田淳子 参加者 134人
- 10/9(金) レクチャーコンサート「世界遺産 琴の世界
～日本と中国の文人音楽～」
18:45 音楽工房ホール 出演：坂田進一
入場者 83人
- 10/15(木)～1/11(月)
ミニテーマ展示「大正琴ロマン」開催
- 10/17(土) 講座「楽器の中の聖と俗」
第45回「鹿児島県加計呂麻島・諸鈍(しょ
どん)シバヤ」14:00
講師：西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授)
研修交流センター 参加者 15人
- 10/19(月)～10/23(金)
移動楽器博物館(浜松市立相生小学校)
- 10/24(土) イブニングサロン「今宵はシューベルト」
18:30 楽器博物館展示室
出演：七條恵子 参加者 75人
- 10/25(日) レクチャーコンサート「樺太アイヌの五弦琴
～魂のトンコロ～」14:00 音楽工房ホール
出演：富田友子、木原仁美 入場者 72人
- 10/29(木)～1/11(月)
企画展「ピアノヒストリー」開催
企画展「素晴らしき哉、ハーモニカ！」開催
- 11/3(火) 文化の日 無料入館日 入館者 1,222人

- 11/3(火) ミュージアムサロン「ハーモニカ」
11:30、14:30 出演：斉藤寿孝、山口牧、宮田薫
参加者 230人
- 11/6(金)～11/7(土)
移動楽器博物館(浜松市立浦川小学校)
- 11/12(木)～11/13(金)
移動楽器博物館(浜松市立金指小学校)
- 11/16(月) レクチャーコンサート「バリトン～ハイドンが愛
した幻の弦楽器～」18:45 楽器博物館展示室
出演：エステルハージ・アンサンブル
入場者 103人
- 11/20(金) レクチャーコンサート「プレイエル・ピアノと弦
楽による19世紀の響き～ショパン、ピアノ協
奏曲第1番室内楽版」19:00
アクトシティ中ホール 入場者 553人
出演：小倉貴久子、桐山建志、藤村政芳、
長岡聡季、花崎薫、小室昌広、小岩信治
- 11/28(土) ワークショップ「親指ピアノ」13:00～16:00
研修交流センター 講師：サカキマンゴー
参加者 20人
- 11/30(月)～12/3(木)
移動楽器博物館(浜松市立中川小学校)
- 12/5(土) 講座「楽器の中の聖と俗」
第46回「新潟県佐渡市 つぶるさし/
神奈川県川崎市 かなまら祭り」
14:00 講師：西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授)
研修交流センター 参加者 21人
- 12/13(日) レクチャーコンサート「フォルテピアノで聴く魅
惑のハイドン～ウィーンからロンドンへ～」
14:00 音楽工房ホール 入場者：89人
出演：本多まき、藤江効子(お話し)
- 12/19(土) イブニングサロン「チェンバロの夕べ」
18:30 楽器博物館展示室 出演：會田賢寿
参加者：76人
- 12/20(日) ミュージアムサロン「フルート」
14:00 出演：松尾圭子(当館職員)、
岡部美喜(当館職員) 楽器博物館展示室
参加者：25人
- 1/10(日) ミュージアムサロン「ツィター」
14:00、15:30 楽器博物館展示室
出演：打越島三、大平雅子 参加者：117人
- 1/11(月) ミニテーマ展示「大正琴ロマン」終了
会期期間中入館者 19,591人
企画展「ピアノヒストリー」終了
会期期間中入館者 15,396人
企画展「素晴らしき哉、ハーモニカ！」終了
会期期間中入館者 15,396人

利 用 案 内

常設展観覧料：大人400円 高校生200円
中学生以下・障害者・高齢者(70歳以上)は無料
開館時間：9:30～17:00
休館日：毎月第2・4水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、
その他施設点検等のための臨時休館日

浜松市楽器博物館だより

平成22年1月15日発行 No.58
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp
URL <http://www.gakkihaku.jp/>

お知らせ：「浜松市楽器博物館だより」は、ホームページからも見る事ができます。また、ホームページでは最新のイベント情報も紹介しています。ぜひご覧ください。